

津山に元気を取り戻す！



清流の会
田口浩二



補助金を活用して照明をLED化した上横野会館

地域要望

問 コミュニティ助成事業を見直し、助成が受けられる範囲・上限額を拡大するべきではないか。

答 地域のコミュニティ活動の充実・強化については、積極的に推進したい。一般コミュニティ助成補助金の上限額のあり方については研究していく。町内会集会施設の整備のあり方についても検討していく。

道路整備

問 防災の面からみた道路整備で、早急に対策を講じる必要がある場所はあるか。また、道路の要望状況、対応は。

答 市が管理する道路はすべて改良済みである。また、平成22年度から平成28年9月末までの対応状況は、要望の累積件数が増加している中、新設道路改良は55%、維持関係は56%の執行率である。

高齢ドライバーの問題



公明党
津山市議員
広谷桂子

子育て

問 放課後児童クラブをどのように考えているか。

答 重要な子育て支援施策のひとつと認識。子どもたちの安心安全な生活の場となるよう、今後も一層の充実に努めてまいりたいと強く感じている。

運転免許返納

問 高齢ドライバーの事故の現状と返納後の対応と交通手段の確保は。

答 津山市では平成27年人身事故発生件数480件のうち65歳以上は1



様々な特典がある「おかやま愛カード」

◆**その他の質問項目**
防炎と女性のネットワーク

19件。主な原因は前方不注意と安全不確認である。自主返納者は1年間に約300名であり、岡山県警が「運転経歴証明書」とバスやタクシー料金割引や協賛店のサービスが受けられる「おかやま愛カード」を発行している。交通手続が連携した取り組みと地域の支えあいが必要である。

市長の施政方針



政岡哲弘

政治姿勢

問 市役所における人事や、施策決定の判断には公正・公平な視点が求められるが、市長の個人的な感情や、選挙の論功行賞が影響することはないのでか。

答 これまでも、人事や施策決定において、そのようなことをしたことは無く、今後においても、公正・公平な判断をしていきたい。

公共交通

問 津山圏域定住自立圏連携事業における公共交通維



公共交通の維持確保を

持・確保の観点からの二種免許取得支援とは。

答 公共交通の維持確保を目的とし、公共交通事業者等が社員の二種免許取得を補助する場面に、その負担を一定割合で補助することを想定している。今後、津山圏域定住自立圏の連携事業として、積極的に取り組んでいきたい。

◆**その他の質問項目**
シティプロモーションなどの移住促進のための情報発信の必要性